

令和 2(2020)年度

事業計画書

令和 2(2020)年 4 月 1 日から

令和 3(2021)年 3 月 31 日まで

一般財団法人 大阪府青少年活動財団

大阪府大阪市浪速区幸町 2 丁目 7 番 3 号 リそな・アルテ桜川ビル 4F

令和2(2020)年度 事業計画書

第二期中期計画の五ヶ年の最終年となる令和2(2020)年度は、引き続き「はぐくんでみらいへ」をスローガンに、次代を担うところ豊かな青少年をはぐくむため、各部所において以下のさまざまな取り組みを進めてまいります。

個々の事業の実施にあたっては、これまでどおり「一人ひとりの青少年が尊重されること」を基本とし、青少年の主体的な参画と成長を願って取り組みを進めるとともに、持続可能な社会の実現に向けて事業企画や施設運営において、SDGsの考え方を根幹に据えた事業展開を推進し、非営利型の一般財団法人として公益的な使命を果たしてまいります。

I 公益目的事業

現代の青少年が抱える課題解決に向けた自立支援事業など社会のニーズに応える公益性の高いユニバーサル事業を、全5事業・延べ190名を対象に実施します。また事業において子どもたちに寄り添って安全にプログラムを進める青少年活動リーダーの育成については、「対象の理解」などの理論研修と実地研修を含めた、年間18回の研修と公開講座への参加を基礎に、さらなる質の向上を目指します。

| 公益目的財産額 | 年間平均認定事業予算 | 目的支出計画期間 |
|--------------|------------|----------|
| 254,455,826円 | 9,593,000円 | 27年 |

| No. | 事業名 | 予定期間 | 共催団体 | 備考 |
|-----|-------------------|-----------------|---|---|
| 1 | 青少年活動 リーダー育成事業 | 年間 | | 採用新人予定数 40名 (在籍総数 約100名) リーダー研修：年間18回 |
| 2 | 公開講座 | 12月 2月 | 大阪府キャンプ協会 他 | リスクマネジメントセミナー 関西野外活動ミーティング* |
| 3 | 「シーカヤック チャレンジ」 | 9月 | 大阪府立 青少年海洋センター | 障がい者カヌー事業 |
| 4 | 「のびのびキャンプ」 | プレ 9月 実施 10月 | 公益財団法人関西テレビ 青少年育成事業団 特定非営利法人 アサヒキャンプ | 自閉症の子どものキャンプ |
| 5 | 「ゆうゆうキャンプ」 | 5月 10月 1月 | 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 | 家庭児童相談室に來所する 児童生徒の体験活動 |

(P10 参照)

II NOS/HRTプロジェクト事業

参加者一人ひとりが豊かな人間関係を築く機会を提供し、「他者とのコミュニケーションの未熟さ」や「自然体験の不足」など現代の青少年が抱えている課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。

| 参加者数目標／延べ人数 | 事業収益目標額 |
|----------------|-------------|
| 8,500人／21,000人 | 87,000,000円 |

※収益目標額には講師派遣事業の内、
NOS/HRT型事業分6,000,000円を含む

1. NOS/HRT（ヒューマン・リレーション・トレーニング）プロジェクト推進事業

- (1) 学校・青少年団体等への体験活動の機会提供、および集団づくり・人間関係づくりプログラムの提供
- (2) 企業等への組織づくり・コミュニケーション能力向上プログラムの提供
- (3) 学校クラブ・スポーツクラブ等へのリーダー育成プログラムの提供
- (4) 教育委員会との「教員研修」等での連携事業（大阪府教育センター、豊能地区他）
- (5) 「出張対応」等での教育現場との連携事業（寝屋川市、たつの市、福知山市各教育委員会他）

2. 野外活動指導者の養成

- (1) 機関連携での資格認定講習会の実施
- (2) 大学・専門学校等からの野外活動指導者資格取得講習を併用したNOS/HRT事業受託

III 自然体験事業

育成事業部および自主運営施設が企画する事業。各会場施設の特色を活かした新規4事業を含めた「生きる力」を育む自然体験事業を、15会場において57事業・延べ5,643人を対象に実施します。また機関連携事業として、自治体や様々な学校・企業などからの要請に応じ、野外活動プログラムの企画・運営や青少年活動の講習会講師など、次代を担う地域人材の育成にも尽力いたします。

1. 募集型企画事業の実施

- (1) 心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供
- (2) 四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドでの実施
- (3) 様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会の提供
 - ① 幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験

- ② 小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動
 - ③ 小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自尊感情を育む体験活動
 - ④ 中学生～高校生には、自己への気づき・他者への関わりを育む体験活動
 - ⑤ ファミリーには、家族内や家族間の交流促進活動
- (4) 体験活動を通し、スキルアップやチャレンジ精神を養う機会の提供

| 年間事業数 | 参加者数目標／延べ人数 | 事業収益目標額 |
|-------|---------------|-------------|
| 57本 | 2,524人／5,643人 | 44,771,000円 |

(P11～12 参照)

2. 機関連携事業 (P12 参照)

- (1) 摂津市チャレンジクラブ（夏期キャンプ・冬期キャンプ）（受託事業：摂津市教育委員会）
- (2) 堺市青少年自然体験学習推進事業（共催事業：公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団）
- (3) 田尻町子ども防災キャンプ（受託事業：田尻町社会福祉協議会）
- (4) 泉大津市チャレンジ事業（受託事業：泉大津市教育委員会）
- (5) 大阪府立少年自然の家施設主催事業への青少年活動リーダー派遣
- (6) 講師派遣事業（高槻市教育委員会、大阪経済大学、浅香山看護専門学校他）
- (7) 青少年育成大阪府民会議への参画
- (8) 「こころの再生」府民運動への協力

IV 施設運営

1. 自主施設の運営

- (1) **吉野宮滝野外学校** 第二期長期使用貸借契約10年間の1年目
- 吉野町との協働により、閉校された吉野町立の元小学校を活用し、財団が自主運営している「人を育てる野外学校」として、自然や地元の人々の温かさに触れながら、NOS/HRTプログラムやさまざまな自然体験事業を通じて、非日常性あふれる豊かな体験の場を提供します。また引き続き施設・設備の整備を進め、人材や食材など吉野町の地域資源を活かした施設運営を目指してまいります。

| 年間運営経費 | 事業収入目標額 | 年間利用目標人数（延べ） |
|-------------|-------------|--------------|
| 37,697,000円 | 24,000,000円 | 17,500人 |

- ① 第二期賃借期間：初年度での運営の安定化
- ・近隣地域ならびに、奈良県内の団体・学校への利用および連携の促進
 - ・新規プログラム、フィールドの継続的開発
 - ・町施策との連携、協働

- ・ 地元周辺団体との連携・協調
- ・ 自然体験活動事業の展開 (P11 参照)
- ・ 効率的な施設運営による経費節減
- ・ 様々な団体利用への対応
- ② 利用促進のための広報の充実
 - ・ 施設見学会、オープンデーの開催
 - ・ ホームページ、フェイスブック、新聞メディア等による情報発信
 - ・ 「吉野町広報」や地元ケーブルテレビとの連携
 - ・ 奈良県内学校団体等への PR 活動
- ③ 施設の改善・環境整備
 - ・ 経年劣化への早期対応
 - ・ 中庭（炊さん場、樹木等）、HACCP 法制化への対応を含めた厨房（設備、食器類、食材保管庫等）、居住（宿泊室、研修室等）各エリアの環境整備
 - ・ 地域消防や地元警察との連携強化によるセキュリティーの向上
 - ・ 害虫や害獣への予防と対策

2. 指定管理・共同指定管理施設の運営

(1) 箕面市立青少年教学の森野外活動センター 第二期指定管理10年間のうち10年目

次期指定管理受託を見据え、それに向けて施設の維持・管理作業の他、食品衛生管理体制の運用の継続等、信頼の向上を目指して努力を続けます。また新たな3事業を含む計33事業・延べ3,120名を対象にした主催事業の他、家族でお手軽に参加できる日帰り事業やクラフトプログラムの拡充など、市民が気軽に利用できる施設を目指し取り組みを進めます。

| 年間運営経費 | 箕面市受託料 | 事業収入目標額 | 年間利用目標人数 (延べ) |
|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 50,269,000円 | 39,736,000円 | 10,533,000円 | 21,500人 |

- ① 施設環境改善への取り組み
 - ・ 経年劣化への早期対応
 - ・ 備品の計画的更新
 - ・ 本館および宿泊棟の Wi-Fi エリアの拡大 ほか
- ② 継続的な利用促進
 - ・ 市民が気軽に参加できる日帰り事業の拡充
 - ・ 新たなクラフトプログラムの開発、貸出備品の拡充
 - ・ 箕面昆虫館等、地域施設と連携した新規事業等の企画立案 ほか
- ③ キャンプカウンセラーの育成 (P13 参照)
 - ・ 体験キャンプ等、カウンセラー50名体制を目指した募集活動の計画と実行
 - ・ 北摂野外活動3施設（豊中・吹田・箕面）でのリーダー募集合同ガイダンスの開催
- ④ 箕面市主催事業・施設主催事業一覧 (P13 参照)
- ⑤ その他
 - ・ 次期指定管理受託に向けた市への提案実施 ほか

(2) 東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」 第四期指定管理5年間のうち4年目

利用者の声を反映した施設整備と、利用者の多様なニーズに沿ったプログラムを提供できる運営を目指します。また、19事業延べ1,777名を対象に実施する施設事業とともに、上記に示したコンテンツをSNSなどで配信し利用者の増加を図っていきます。

| 年間運営経費 | 東大阪市受託料 | 事業収入目標額 | 年間利用目標人数(延べ) |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 54,676,000円 | 43,972,000円 | 10,704,000円 | 11,000人 |

- ① 施設環境改善への取り組み
 - ・テント台の補修を継続
 - ・ナラ枯れ、危険木伐採、草刈り等の定期的な環境整備
 - ・テント利用者への利便性を図るため、テントサイト男女トイレに温水洗浄便座を設置
 - ・宿舍、駐車場の拡張、階段等の整備
 - ・プログラムフィールドの整備(ローエレメントのコース設定、ミニアスレチック、子ども用ボルダリングコースの設置など)
- ② 青少年活動リーダー(なるかわリーダー)の育成(P14参照)
 - ・新人リーダー20名を含む50名体制を目指す。
 - ・ワークキャンプの設定・技術研修・財団事業派遣を通してのOJTを強化
- ③ 施設主催事業等一覧(P14参照)

(3) 大阪府立少年自然の家 第三期共同指定管理10年間のうち5年目

学校団体を中心とした大規模団体への利用促進を継続しつつ、外国人団体のうち学校団体への広報を強化し、利用促進活動をするとともに施設を活用した事業を展開していきます。

自然災害等による危機管理を再度確認するとともに生活環境の改善、食の安全を図り、さらなる利便性、快適性の向上に努め、共同指定管理団体との連携を図っていきます。

- ・年間利用目標人数(延べ)・・・107,200人
- ・効率的な施設運営による経費節減に努め、安心・安全な施設を目指します。

- ① 施設環境改善への取り組み
 - ・ホームページの整備
 - ・宿泊室の整備
 - ・野外施設、居住環境、厨房設備の環境改善
- ② 継続的な利用促進
 - ・近隣地域、団体への利用促進と地域連携の促進
 - ・訪日学校団体への利用促進
 - ・新規プログラム、フィールドの整備
 - ・ホームページ、フェイスブック等による情報発信
 - ・大阪府市通送便、貝塚市広報との連携
- ③ 施設主催事業の充実
 - ・府施策との連携、協調

(4) 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

第三期共同指定管理5年間のうち5年目

今夏の指定管理者公募に向け、共同体構成他団体との連携を図りつつ、受託に向け計画立案を進めます。

自習室開放などの青少年の居場所づくり機能や、また次年度は青少年へのひきこもり支援事業を共催する等、青少年センターとしての機能を多面的に発揮させてまいります。

① 青少年センター機能の充実

- ・財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点のひとつとしての活用
- ・青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ配架の促進
- ・青少年関係団体の利用登録団体増加の推進と研修会場としての利用促進
- ・青少年健全育成を主な目的とした野外活動団体とのイベントや研修会の共催
「リスクマネジメントセミナー」（12月） 「関西野外活動ミーティング」（2月）
- ・青少年関係事業の提案（府青少年課と共催）
「ひきこもりUX女子会」（7月・11月）

<共同指定管理者>

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
株式会社菱サ・ビルウェア関西支店
特定非営利活動法人大阪現代舞台芸術協会

V 法人運営

1. 理事会

- | | |
|----------------|--|
| (1) 第1回理事会（定時） | 2020年6月8日（月）午後2時30分～ 浪速区民センター ・2019年度事業報告及び収支決算等 |
| (2) 上半期事業報告会 | 2020年11月上旬 大阪府立男女共同参画・青少年センター ・2020年度上半期事業報告 |
| (3) 第2回理事会（定時） | 2020年3月上旬 大阪府立男女共同参画・青少年センター ・2021年度事業計画及び収支予算等 |

2. 評議員会

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 第1回評議員会（定時） | 2020年6月24日（水）午後2時30分～ 大阪府立男女共同参画・青少年センター ・2019年度事業報告及び収支決算等 |
| (2) 第2回評議員会（定時） | 2021年3月中旬 |

3. 第二期中期計画の推進

- (1) 災害対応を含めた危機管理やコンプライアンスの徹底などによる、リスクマネジメント力の強化
- (2) SDGsへの理解を深め、持続可能な社会の実現に向けた法人運営を目指す。
- (3) 個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底
- (4) 業務の効率化を目的とした経営の健全化
- (5) 計画的な人員採用および育成の実施
- (6) 法令や社会背景を取り入れたより働きやすい職場環境の構築ならびに福利厚生の充実。
- (7) 中期計画の重点項目の継続検討、実施（運営推進会議での検討を継続）
 - ① 青少年の今日的課題の解決に向けた新規事業、プログラムの積極提案と実施
 - ② 法人運営の安定化を目指す経営計画の策定・実行
 - ・ 青少年育成団体としての専門性の向上
 - ・ 職員個々の計画的育成に向けた項目の抽出と研修の実施
 - ・ 青少年活動リーダー育成のカリキュラムの検討
 - ③ 広報、営業方策の継続検討（ホームページのリニューアル、広報活動へのSNSの積極的な導入）
- (8) 次期指定管理、新規指定管理施設の受託の準備
現指定管理受託施設（箕面・ドーンセンター・東大阪・貝塚）の次期指定管理受託の提案作成および準備
新規指定管理施設の獲得のための情報の収集および応募事務作業の一般化

4. 第三期中期計画の策定

- (1) SDGsなど、社会の変化や新たな価値観に対応した経営理念を構築し、組織全体で共有する。
- (2) その理念達成のため、職員・リーダー一人ひとりが取り組める目標を定める。
- (3) 経営基盤をより安定的で強固なものにするため、以下を視野に入れた計画を立案する。
 - ・ 同業他団体との連携
 - ・ 公益財団法人への移行を模索
 - ・ 新たな指定管理施設の獲得
 - ・ N O S / H R T プログラムの新たな大口受託先の獲得
- (4) より社会に貢献できる公益目的事業の立案、計画